

鳥取市水道局工事成績評定要領

〔平成15年5月23日
制 定〕

(目的)

第1条 この要領は、鳥取市水道局工事検査規程（平成13年鳥取市水道事業管理規程第4号。以下「工事検査規程」という。）第13条の3に基づき、工事成績の評定（以下「評定」という。）に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(評定の対象)

第2条 評定の対象は、鳥取市建設工事執行規則（昭和61年鳥取市規則第11号。「以下「工事執行規則」という。）第1条に規定する建設工事とする。

(評定者)

第3条 評定者は、工事執行規則に定める監督員（以下「第一次評定者」という。）及び工事検査規程に定める検査員（以下「第二次評定者」という。）とする。

(評定の方法)

第4条 評定者は、工事が完成したときは工事検査規程第7条により定めた鳥取市水道局工事検査基準により実施した検査を基に評定を行うものとする。

(工事成績評定調書)

第5条 工事検査規程第13条の3に規定する工事成績評定調書の種類及び様式は、次の表の区分による。

工事成績評定調書の種類	様式
建設工事検査チェックリスト（監督員）	様式第1号
水道管工事検査チェックリスト（監督員）	様式第2号
工事施工環境・施工条件による割増表	様式第3号
工事成績採点表（監督員）	様式第4号
水道管工事成績採点表（監督員）	様式第5号
建設工事検査チェックリスト（検査員）	様式第6号
水道管工事検査チェックリスト（検査員）	様式第7号
工事成績採点表（検査員）	様式第8号
水道管工事成績採点表（検査員）	様式第9号

2 第一次評定者は、次の表の左欄に掲げる工事の種類に応じて、当該右欄に掲げる工事成績評定調書に必要事項を記載して、第二次評定者に提出するものとする。

工 事 の 種 類	工 事 成 績 評 定 調 書
水 道 管 工 事	建設工事検査チェックリスト（監督員） 水道管工事検査チェックリスト（監督員） 工事施工環境・施工条件による割増表 水道管工事成績採点表（監督員）
水道管工事以外の建設工事	建設工事検査チェックリスト（監督員） 工事施工環境・施工条件による割増表 工事成績採点表（監督員）

3 第二次評定者は、前項の規定により工事成績評定調書の提出を受けたときは、当該調書に必要事項を記載し、及び工事成績を決定したうえ、当該調書を検査復命書に添付するものとする。

4 工事の中間検査の評定は、前2項の規定に準じて行う。

（委任）

第6条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成15年5月23日から施行し、平成15年4月1日以後に起工の決裁がなされた工事から適用する。

附 則（平成17年3月25日）

（施行期日）

1 この要領は、平成17年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この要領による改正後の鳥取市水道局工事成績評点要領第5条の規定は、平成17年4月1日以後に起工の決裁がなされた工事に適用し、同日前に起工の決裁がなされたものについては、なお従前の例による。

附 則（平成23年5月23日）

（施行期日）

1 この要領は、平成23年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この要領による改正後の鳥取市水道局工事成績評点要領第5条の規定は、平成23年4月1日以後に起工の決裁がなされた工事に適用し、同日前に起工の決裁がなされたものについては、なお従前の例による。

建設工事検査チェックリスト

(監督員)

1 施工体制 (工事名:)

(1) 施工体制一般

考查項目	チェックリスト	良	普通	不良
施工計画書	1 工事概要(工事名、工事場所、工期、請負金額、請負者、工事内容等)	/		
	2 計画工程表(工種別構成比率、総合工程曲線)	/		
	3 現場組織表(現場代理人、主任(監理)技術者、各管理責任者、1次下請を含む各工種責任者)	/		
	4 安全管理(管理目標、安全施工サイクル及び月毎の安全・訓練等の実施項目及び時間<日常のTBM、KY及び月1回の安全協議会の合計時間が月当り240分以上>、安全組織)	/		
	5 指定機械(指定された機械)	/		
	6 主要資材(品名、規格及び数量)	/		
	7 施工方法(施工工程、準備、使用機械、仮設計画、仕様書に基づく工種別施工方法)	/		
	8 施工管理計画(工程管理、出来形・品質・写真管理の項目・基準・点数、及び階段確認の内容・時期)	/		
	9 緊急時の体制及び対応(緊急時の連絡体制・対応及び緊急用機資材の確保体制)	/		
	10 交通管理(案内標識、交通整理員、機資材の輸送計画)	/		
	11 環境対策(騒音、振動、水質汚濁対策等)	/		
	12 現場作業環境の整備(現場事務所・便所等の整備計画、現場及び周辺の整理整頓)	/		
	13 再生資源の利用促進(産業廃棄物・残土処理の方法、再生資材利用計画)	/		
	14 その他(関連工事、中間検査の時期、施工図等の提出時期・建築、設備、橋梁製作)	/		
施工体制	1 有資格者(専門技術者、作業主任、技能士等が作業を行った)	/		
	2 施工体系図、施工体制台帳(下請金額が土木は3千万円以上、建築は4千5百万円以上)	/		
官公署手続等	1 官公署への手続き・届出(労働基準監督署、海上保安部、警察署、消防、電気等)	/		
改善指導事項	1 設計図書に適合しないため、文書による改善指示	d	(有・無)	
	2 上記の改善指示に従わなかった	e	(有・無)	
備考	()内の項目が記載されており内容が充実していれば 良、内容が記載されていれば 普通計(良が3:a、良が2:b、不良が2以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d、e)			

(2) 現場代理人

執務の執行 運営取締り	1 現場の常駐(常駐していなければ不良)	/		
	2 工事内容の理解(契約図書の内容を良く理解し工事現場の運営、取締りを行った 良)			
	3 監督員との連絡、協議及び協調(監督員と良く連絡、協議を行い工事現場の運営、取り締まりを行った)			
	4 工事に関する提案状況(協議時に現場に即した工法等の提案が多かった 良)			/
改善指導事項	1 現場に常駐していないため、文書による改善指示	d	(有・無)	
	2 上記に従わなかった	e	(有・無)	
備考	計(良が3:a、良が2:b、不良が1以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d、e)			

(3) 主任(監理)技術者

技術力	1 主任(監理)技術者の専任(専任していなければ不良)	/		
	2 工事内容の把握・理解(契約図書の内容を良く把握・理解し現場の進捗につとめた 良)			
判断力	3 主任(監理)技術者の技術力(施工に関して技術的判断が良かった 良)			
	4 監督員との連絡、協議及び協調(監督員と良く協議・連絡を行った 良)			
改善指導事項	1 専任していないため、文書による改善指示	d	(有・無)	
	2 上記に従わなかった	e	(有・無)	
備考	計(良が3:a、良が2:b、不良が1以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d、e)			

2 施工状況

(1) 施工状況一般

考查項目	チェックリスト	良	普通	不良
施工状況	1 施工計画書に基づく施工方法の実施状況(施工計画書の通り施工されている)	/		
	2 着工前測量及び照査(縦横断測量、電気、水道等の照査を行い測量図を作成し提出)	/		
	3 段階確認の記録(施工計画書に基づく段階確認の記録及び写真を整理 良)			
	4 週報及び協議資料等の整理(協議書、指示票、社内検査、休日作業届等が良く整理 良)			
	5 使用材料報告書(承諾願及び使用届・カタログ、見本、製作仕様書等を添付)	/		
	6 搬入資材の保管状況及びコンクリートの養生状況(中間検査又は状況写真で確認) (良好な状態が確認できれば 良)			
	7 産業廃棄物処理状況(委託契約、マニフェストで確認)	/		
	8 施工図・機器製作図の作成(建築、設備、橋梁、機器製作工事が対象)			
	9 施工に関する創意工夫(独自の工夫、イメージアップ)			/
写真管理	1 施工計画書に基づく写真管理の実施(管理項目及び点数が施工計画書の通り実施)	/		
	2 工事記録写真の整理(工種別、項目別にまとめ説明図等を添付 良)			
	3 不可視部分の撮影状況(黒板を入れて施工状況及び寸法が読みとれる 良)			
出来形管理	1 施工計画書に基づく出来形管理の実施(管理項目及び点数が施工計画書の通り実施)	/		
	2 成果表、管理図表、構造図、完成図の整理状況(成果表<20点未満>、管理図表<20点以上> 構造図<寸法記入>、完成図<平面図、縦横断面図、展開図>を整備)			
品質管理	1 施工計画書に基づく品質管理の実施(管理項目及び点数が施工計画書の通り実施)	/		
	2 成果表及び管理図表の管理状況(成果表<20点未満>、管理図表<20点以上>を整備)			
改善指導事項	1 設計図書に適合しないため、改善請求	d	(有・無)	
	2 工事記録写真等に不備があり破壊検査又は監督員から文書により改善指示	d	(有・無)	
	3 検査体制で計測器又は人員等に不備があり検査に支障	e	(有・無)	
	4 上記1、2の請求又は指示に従わなかった	e	(有・無)	
備考	計(良が8以上:a、良が5以上:b、不良が2以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d,e)			

(2) 工程管理

工程管理	1 計画工程に対する実施状況(計画<変更>工程表のとおり実施し契約工期より2週間以上早く完了届けが提出された 良)			
改善指導事項	1 請負者の責による着工遅延や、工期延長を行わざるを得なかった。	d	(有・無)	
	2 自主的な工程管理がなされず監督員から文書により改善指示	d	(有・無)	
	3 上記改善指示に従わなかった	e	(有・無)	
備考	計(良:a又はb 不良:d 普通:c 改善指導事項に該当:d,e)			

(3) 安全管理

安全管理体制	1 安全・訓練等の実施状況(KY、TBM、安全協議会、現場パトロール等の実施状況が記録され写真・月間表とともに整理 良)			
	2 安全日誌	/		
	3 現場環境の整備状況(現場事務所の周辺及び現場内の整理整頓等の状況を写真で確認)	/		
	4 工事表示板及び安全施設等の設置状況(運搬経路や現場において案内標識、警戒標識、規制標識、防護柵標識灯等安全施設が適切に設置され写真で確認されれば 良)			
	5 見張り、誘導員の配置(重機作業の見張り、運搬車輛の誘導を写真等で確認)	/		
	6 社内パトロール実施状況(定期的実施しその指摘事項に対応している 良)			/
改善指導事項	1 軽微な公衆損害事故、工事関係者事故を生じたため文書による警告又は注意を喚起	d	(有・無)	
	2 臨機の処置が不適切又は監督員の指示に従わないため災害時に損害	d	(有・無)	
	3 重大な工事関係者事故、又は公衆損害事故	e	(有・無)	
備考	計(良が3:a、良が2:b、不良が1以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d,e)			

(4) 対外関係

対外調整 周辺環境 対策	1 地元の調整及び工事用地の確保(自ら地元調整や工事用地の確保を行い、 良好な解決を得た 良)			
	2 関連工事との調整、円滑な施工(自ら関連工事の調整に協力し円滑な施工に寄与した 良)			
	3 周辺環境対策の実施(騒音、振動、水質汚濁対策等を実施することにより円滑な工事の 進捗が図られた 良)			
改善指導事項	1 周辺環境対策への努力(配慮)が極めて悪く第三者からの苦情が多発	d	(有・無)	
	2 関連工事との調整に非協力的であり監督員から指示	d	(有・無)	
	3 上記指示に従わなかった	e	(有・無)	
備考	計(良が3:a、良が2:b、不良が1以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d,e)			

様式第2号(第5条関係)

水道管工事検査チェックリスト(監督員)

水道管布設技術

考査項目	チェックリスト	良	普通	不良
管 布 設	1 仕切弁、消火栓等ボックスの据付	/	0.7	0.3
	2 管の継手接合並びに継合手順	/	0.7	0.3
	3 管の切断及び切断部の管端処理	/	0.7	0.3
	4 ポリエチレンスリーブの施工	/	0.7	0.3
	5 管明示テープ、埋設シートの施工	/	0.7	0.3
	6 通水準備	/	0.7	0.3
	7 廃止管	/	0.7	0.3
	8 給水管布設	/	0.7	0.3
既設管連絡	1 断水計画	3.0	1.3	0.7
	2 断水、濁水広報	/	0.7	0.3
	3 既設管接続作業	3.3	1.4	0.7
	4 濁水放水作業	3.0	1.3	0.7
出来形管理	1 配管図	/	0.7	0.3
	2 継手チェックシート	/	0.7	0.3
	3 管理設管理図	3.0	1.3	0.6
計		/20点		

注)計点は、小数第2位を四捨五入し、小数1位止めとする。

工事施工環境・施工条件による割増表

項目	細目	内 訳	配 点	
			a	b
			大変努力した	努力がみられた
環境・施工条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場は環境条件が当初の想定と著しい差異があり、その対応に努力がみられた ・ 地形、地質、土壌条件は当初設計の考え、予想と著しく差異があり、その対応に努力がみられた ・ 施工条件が近隣に与える影響大のため、制約条件は大で、その対応に努力がみられた 	<ol style="list-style-type: none"> 1 大気汚染、水質汚濁、騒音振動、地盤沈下、土壌汚染悪臭等への対策が特に要求される工事であって、工事進捗に影響を与える現場であること。 2 急峻な地形（山腹勾配35度以上）が現場工区のおおむね60%以上を占めている現場であること。 3 地滑り地帯の中にあり、施工が危険である場合。 4 施工事例の少ない特殊な工事であって、新工法、パイロット工事、特殊工法等で、設計計上されていない現場であること。 5 軟弱地盤（N値5以下）が工区のおおむね60%以上を占めている現場。 6 主要の工種が圧機内作業又は高所作業（5m以上）であり、施工が危険である場合。 7 鉄道・空港（航路）もしくは主要幹線道路の真上にて行う工事で、施工困難である場合。 8 占有物件の移設を伴う工事又は競合工事で制約がある場合。 9 人家連担区間等で交通に重大な影響を及ぼす場合（夜間工事を含む） 10 狭隘な施工ヤードで施工する場合。 	10	5

注) 工事完成後、監督員が該当する項目と配点に を付し評点に加算する。

・工事成績採点表に添付する。

水道管工事成績採点表(監督員)

平成 年 月 日

工事名		請負者名						
考 査 項 目		第 一 次 評 定 者						
		監 督 員						
		職氏名						
項 目	細 別	割増	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	1) 施工体制一般		+ 2.5	+ 1.5	0	- 5	- 10	
	2) 現場代理人		+ 7.5	+ 3.5	0	- 5	- 10	
	3) 主任(監理)技術者		+ 5.0	+ 2.5	0	- 5	- 10	
2. 施工状況	1) 施工状況一般		+ 5.0	+ 2.5	0	- 5	- 10	
	2) 工程管理		+ 2.5	+ 1.5	0	- 5	- 10	
	3) 安全管理		+ 5.0	+ 2.5	0	- 5	- 10	
	4) 対外関係		+ 7.5	+ 3.5	0	- 5	- 10	
加 減 合 計 点 1 + 2			+		-		点	
評 定 点 (* 1)			65	+	-	=	点	
水道管工事評定点 (* 2)							/20	点

* 1 65点±加減点合計=評定点(四捨五入、小数1位止) 注)各考查項目ごとの採点は別紙によるものとする

* 2 水道管工事評定点(四捨五入、小数1位止) 注)水道管工事検査チェックリスト(監督員)による。

建設工事検査チェックリスト

(検査員)

1 施工体制 (工事名:)

(1) 施工状況一般

検査項目	チェックリスト	良	普通	不良
施工状況	1 段階確認の記録(段階確認の記録及び写真を整理 良)			
	2 週報及び協議資料等の整理(協議書、指示票、社内検査、休日作業届等が良く整理 良)			
	3 使用材料報告書(承諾願及び使用届・カタログ、見本、製作仕様書等を添付)	/		
	4 搬入資材の保管状況及びコンクリートの養生状況(中間検査又は状況写真で確認) (良好な状態が確認できれば 良)			
	5 産業廃棄物処理状況(委託契約、マニフェストで確認)	/		
	6 施工図・機器製作図の作成(建築、設備、橋梁、機器製作工事が対象)			
	7 施工に関する創意工夫(独自の工夫、イメージアップ)			/
施工管理状況	1 出来形管理の実施(管理項目及び点数が適切に実施)	/		
	2 品質管理の実施(管理項目及び点数が適切に実施)	/		
	3 写真管理の実施(管理項目及び点数が適切に実施)	/		
	4 工事記録写真の整理(工種別、項目別にまとめ説明図等を添付 良)			
	5 不可視部分の撮影状況(黒板を入れて施工状況及び寸法が読みとれる 良)			
改善指導事項	1 設計図書に適合しないため、改造請求	d	(有・無)	
	2 工事記録写真等に不備があり破壊検査又は監督員から文書により改善指示	d	(有・無)	
	3 検査体制で計測器又は人員等に不備があり検査に支障	d	(有・無)	
	4 上記1、2の請求又は指示に従わなかった	e	(有・無)	
備考	計(良が6以上:a、良が4:b、不良が2以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d,e)			

2 出来形、品質

(1) 出来形

検査項目	チェックリスト	良	普通	不良
出来形	1 出来形数量一覧表及び主要材料集計一覧表(設計数量と実施数量の対比)	/		
	2 関係図書の内容(成果表、管理図表、構造図、の整理及び設計<計画>値とのバラツキ) 関係図書が良く整理され規格値を満足し設計値とのバラツキが少ない 良			
	3 出来形成果図(平面図、縦横断面図、展開図が良く整理されている 良)			
改善指導事項	1 手直し指示又は修補指示	d	(有・無)	
	2 管理項目の不足又は管理値と検測値の不整合	d	(有・無)	
	3 大々的は修補指示	e	(有・無)	
備考	計(良が2:a、良が1:b、不良が1以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d,e)			

(2) 品質

検査項目	チェックリスト	良	普通	不良
品質	1 コンクリート(圧縮強度、スランプ、空気量、塩化物)試験値と規格値との整合			
	2 モルタル・吹付(フロー値、テストピース及びコアの強度)試験値と規格値との整合			
	3 鋼材(ミルシート又は材料試験、溶接)試験値と規格値との整合			
	4 土砂・砕石(材料試験、施工試験)試験数値と規格値との整合			
	5 アスファルト(施工試験)試験数値と規格値との整合			
	6 上記以外の工事材料の品質証明(工場での試験成績、材料検収)と規格値との整合			
	7 機器、装置等の性能検査及び試験(検査記録、試験成績表の整理)			
改善指導事項	1 手直し指示又は修補指示	d	(有・無)	
	2 管理項目の不足又は管理値と検測値の不整合ないため災害時に損害	d	(有・無)	
	3 大々的な修補指示	e	(有・無)	
備考	計(良が6以上:a、良が4以上:b、不良が1以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d,e)			

3 出来栄

(1) 出来栄

検査項目	チェックリスト	良	普通	不良
出来ばえ	1 通り(構造物の通りが良い 良)			
	2 すりつけ(構造物の端部処理が的確に処理されている 良)			
	3 外観仕上げ、内部仕上げ(法面、路面、コンクリート構造物、2次製品等) 外面や内部の仕上げ面に段差、漏水、クラック等が無く補修状態も良い 良			
	4 安全、環境、維持、管理への配慮(建築設備工事に適用)			
その他	1 構造物の機能、性能、利便性(農道、用排水路等土地改良施設)等に配慮 付帯工(側溝、横断暗渠、集水柵、取付道路等)の機能、性能に良く配慮している 良			
改善指導事項	1 手直し指示又は修補指示	d	(有・無)	
	2 大々的な修補指示	e	(有・無)	
備考	計(良が4以上:a、良が3:b、不良が1以上:d、その他:c、改善指導事項に該当:d,e)			

様式第7号(第5条関係)

水道管工事検査チェックリスト(検査員)

施工管理技術

考查項目	チェックリスト	良	やや良	普通	やや不良	不良
施工管理状況	1 床掘工・管据付工	/	/	0.8	0.6	0.4
	2 管継手工	/	/	1.0	0.6	0.4
	3 消火栓設置工	/	/	0.8	0.6	0.4
	4 仕切弁設置工	/	/	0.8	0.6	0.4
	5 給水管切替工	2.0	1.3	0.8	0.6	0.4
	6 埋戻工	1.5	1.0	0.8	0.6	0.4
	7 路盤工	1.5	1.0	0.8	0.6	0.4
	8 舗装工	1.5	1.0	0.8	0.6	0.4
	9 搬入資材の保管、取り扱い	/	/	0.8	0.6	0.4
出来形	1 完成図の内容	3.0	2.2	1.5	1.0	0.6
	2 管理設管理図の内容	3.0	2.2	1.5	1.0	0.6
	3 継手チェックシートの内容	/	/	0.8	0.6	0.4
出来栄え	1 仕切弁、消火栓等のボックスの据付	1.5	1.0	0.8	0.6	0.4
その他	1 完成通知書の提出	/	/	1.0	0.6	0.4
計		/20点				

注) 計点は、小数第2位を四捨五入し、小数1位止めとする。

工 事 成 績 採 点 表 (検 査 員)

平成 年 月 日

工 事 名					請 負 者 名			
考 査 項 目		第 二 次 評 定 者						
		検 査 員						
		職 氏 名						
項 目	細 別	a	b	c	d	e		
1. 施工状況	1) 施工状況一般	+ 5.0	+ 2.5	0	- 5	- 10		
	2) 工程管理							
	3) 安全管理							
	4) 対外関係							
2. 出来形および品質	1) 出来形	+10	+5	0	- 10	- 20		
	2) 品質	+10	+5	0	- 10	- 20		
3. 出来栄え	1) 出来栄え	+10	+5	0	- 10	- 20		
加 減 合 計 点	1 + 2 + 3	+ 点 - 点						
評 定 点	(* 1)	65 + - = 点						
評 定 点 合 計	(* 2)	(監督員評定点) × 0.35 + (検査員評定点) × 0.65 = 点(成績)						
成 績	(評 定 点 合 計)	A (90以上)	B (89 ~ 75)	C (74 ~ 60)	D (59 ~ 45)	E (45以下)		

* 1 65点±加減点合計 = 評定点(四捨五入、小数1位止) 注)各考查項目ごとの採点は別紙によるものとする

* 2 (監督員評定点) × 0.35 + (検査員評定点) × 0.65 = 評定点合計(四捨五入、整数)

水道管工事成績採点表(検査員)

平成 年 月 日

工事名					請負者名			
考 査 項 目		第 二 次 評 定 者						
		検 査 員						
		職氏名						
項 目	細 別	a	b	c	d	e		
1. 施工状況	1) 施工状況一般	+ 5.0	+ 2.5	0	- 5	- 10		
	2) 工程管理							
	3) 安全管理							
	4) 対外関係							
2. 出来形および品質	1) 出来形	+10	+5	0	- 10	- 20		
	2) 品質	+10	+5	0	- 10	- 20		
3. 出来栄え	1) 出来栄え	+10	+5	0	- 10	- 20		
加 減 合 計 点	1 + 2 + 3	+ 点 - 点						
評 定 点	(* 1)	65	+	-	=	点		
水道管工事評定点	(* 2)	/20						
評 定 点 計	(* 3)	(監督員評定点) × 0.21 + (検査員評定点) × 0.39 = 点 /60						
水道管工事評定点 計	(* 4)	(監督員・水道工事評定点) + (検査員・水道工事評定点) = 点 /40						
評 定 点 合 計	(* 5)	(評定点 計) + (水道工事評定点 計) = 点 (成績)						
成 績	(評 定 点 合 計)	A (90以上)	B (89 ~ 75)	C (74 ~ 60)	D (59 ~ 45)	E (45以下)		

- * 1 65点±加減点合計=評定点(四捨五入、小数1位止) 注)各考查項目ごとの採点は別紙によるものとする
- * 2 水道管工事評定点(四捨五入、小数1位止) 注)水道管工事検査チェックリスト(検査員)による。
- * 3 評定点 計(四捨五入、小数1位止)
- * 4 水道管工事評定点 計(四捨五入、小数1位止)
- * 5 評定点 合計(四捨五入、整数)